

平成 25 年 10 月 18 日

各 位

会社名 株式会社日本一ソフトウェア
 代表者名 代表取締役会長 北角 浩一
 (JASDAQ・コード番号：3851)
 問合わせ先
 役職・氏名 取締役管理部長 世古 哲久
 電 話 058-371-7275

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）につきまして、下記のとおり平成 25 年 5 月 10 日付にて公表いたしました業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 3 月期業績予想の修正

平成 26 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正

（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	1,456	83	76	46	10 円 96 銭
今回修正 (B)	2,037	323	339	282	66 円 71 銭
増減額 (B - A)	580	240	262	236	
増減率	39.9%	289.5%	342.1%	508.9%	
(参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期 第 2 四半期)	1,000	△46	△39	△89	△21 円 09 銭

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	2,674	265	251	201	47 円 48 銭
今回修正 (B)	3,190	317	332	274	64 円 75 銭
増減額 (B - A)	515	52	81	73	
増減率	19.3%	19.8%	32.2%	36.4%	
(参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	2,530	△181	△168	△215	△50 円 88 銭

ご注意：この文書は、当社の業績予想の修正に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書及び訂正事項分（作成された場合）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

平成 26 年 3 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正

（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株当たり 四半期純利益
前回予想（A）	652	16	13	3 円 21 銭
今回修正（B）	988	209	208	49 円 21 銭
増減額（B－A）	335	192	195	
増減率	51.4%	—	—	
（参考） 前期第 2 四半期実績 （平成 25 年 3 月期 第 2 四半期）	321	△103	△106	△25 円 08 銭

平成 26 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株当たり 当期純利益
前回予想（A）	1,217	109	109	25 円 78 銭
今回修正（B）	1,514	191	190	44 円 97 銭
増減額（B－A）	297	81	81	
増減率	24.4%	74.3%	74.4%	
（参考）前期実績 （平成 25 年 3 月期）	1,257	△172	△224	△53 円 10 銭

2. 修正の理由

(1) 連結業績予想の修正

当第 2 四半期累計期間の連結業績予想におきましては、パッケージ事業において、『魔女と百騎兵』が堅調に推移したこと、オンライン事業におけるダウンロードコンテンツの配信が好調に推移したこと、ライセンス事業及びその他事業におけるロイヤリティ収入が好調に推移したことを主たる要因として、売上高は 2,037 百万円となる見込みであります。

営業利益におきましては、上記要因を理由として、323 百万円となる見込みであります。

経常利益におきましては、上記要因の他、為替差益の計上等を理由として 339 百万円となる見込みであります。

当期純利益におきましては、上記要因の他、法人税等が増加したことに伴い 282 百万円となる見込みであります。

通期の業績予想におきましては、上記要因があるものの、市場へ投入するタイトルや計画本数の見直し等を行ったことにより、下半期における売上高が減少し、3,190 百万円となる見込みであります。

営業利益におきましては、上記要因の他に、一部タイトルの収益タイミングの変更や当社設立 20 周年記念における費用等を理由として 317 百万円となる見込みであります。

ご注意：この文書は、当社の業績予想の修正に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書及び訂正事項分（作成された場合）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

経常利益におきましては、上記要因の他、本日公表した「新株式発行及び株式売出し並びに親会社以外の支配株主の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、有利子負債の返済に伴い支払利息を減少させたこと等を理由として 332 百万円となる見込みであります。

当期純利益におきましては、上記を主たる要因として 274 百万円となる見込みであります。

(2) 個別業績予想

個別業績予想につきましても、上記と同様の理由により修正いたします。

- (注) 1. 上記予想は、本資料発表日現在における入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。
2. 通期連結業績予想、通期個別業績予想における業績修正後の 1 株当たり当期純利益の算定においては、平成 25 年 3 月末現在の発行済株式数を使用しております。なお、本日公表した「新株式発行及び株式売出し並びに親会社以外の支配株主の異動に関するお知らせ」にありますように、今後、株式数の変更により、1 株当たり当期純利益が変動する可能性があります。
3. 当社は、平成 25 年 3 月 15 日開催の取締役会において、平成 25 年 4 月 1 日を効力発生日として当社普通株式 1 株を 200 株とする株式分割を行い、同時に 100 株を 1 単元とする単元株制度を採用することを決議しております。
- この内容を踏まえ、1 株当たり当期純利益については、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

以上